

○文化財建造物修理技術者

はやし せいざぶろう
林 清三郎氏

昭和6年9月16日生（84歳）

[略歴]

同人は、昭和25年3月に奈良県立新制吉野高等学校建築科を卒業後、26年3月、奈良県教育委員会受託の重要文化財吉野水分神社本殿ほか4棟修理事業のための臨時技術雇に採用された。それ以来、専門技術が要求される建造物修理技師として、数多くの建造物修理に携わり、国民の財産である文化財建造物を荒廃から守り後世に伝えるべく努力してきた。

同人が携わってきた建造物修理は、十六所神社本殿、松尾寺本堂、中家住宅ほか県下文化財の多数に関わり、修復について自らの技術力を遺憾なく発揮し、所期の目的を達成させてきた実績は多大である。

昭和46年11月からは出張所主任として、現場における技術指導、修理手順の策定等、保存修理を円滑に推進するため適切な指導に努めた。昭和62年からは文化財保存課主幹として、県下全域の文化財建造物保護や保存修理について、文化庁や市町村、事業主体である神社や寺院との調整に当たり、後進への技術指導助言に精力的に尽力し、文化財建造物保護行政に多大な功績を記した。

平成2年3月に奈良県教育委員会を退職した後は、今井町の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指していた橿原市教育委員会によられ、基本方針決定や保存物件特定を含む保存計画策定に尽力された。平成5年12月選定後は、文化財修理の経験を活かし町並保存修理事業の指導に当たった。平成18年4月からは今井町の伝統的建造物群保存地区保存審議会委員として現在も継続して町並保存事業に携わっている。

以上のように、同人は昭和26年3月以降、国宝・重要文化財建造物等の保存修理に一貫して関与し、技術・知識の継承に尽力した。